

令和5年度 第1回八千代市情報化推進協議会 会議録

日 時 令和5年8月28日(月) 午前10時30分から午前11時50分まで

場 所 八千代市役所 別館2階 第1会議室

- 1 議 題 (1) 会長の選任について
(2) 八千代市DX推進方針(案)について

出席者 委員 金子委員
市川委員
村山委員
高橋学委員
高橋俊晴委員
中川委員
(欠席) 岩井委員
(欠席) 山口委員
(欠席) 榊原委員

事務局 萩原情報政策課長
岩田副主幹
三橋主査
若林主任主事
田中主任主事

公開又は非公開の別 公開

傍聴人(来庁) 0名

オンライン 1名

定刻、会議が開会し、萩原情報政策課長及び各委員の挨拶、配布資料の確認があった。

議題1 会長の選任について

【岩田副主幹】

早速、議題に入らせていただきます。

本日は委員改選後初めての会議となりますことから、要綱第5条第1項の規定により、会議の議長を務めることとなっております会長が不在の状況となっております。

そこで、会長が選出されるまでの間、事務局より情報政策課長である萩原が、仮議長を務めさせていただきます。

それでは、萩原課長、よろしくお願いいたします。

【萩原課長】

それでは、会長が選任されるまでの間、仮の議長を務めさせていただきます。

萩原でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日の出席委員は、6名でございます。委員の半数以上の出席に達しておりますので、要綱第5条2項の規定により、会議を開催いたします。

次第により、「議題(1)会長の選出について」を始めさせていただきます。

要綱第4条第1項の規定により、協議会に会長を置き、委員の互選により定めることとなっておりますことから、どなたか会長をご推薦される方はいらっしゃいますでしょうか。

【高橋学委員】

NTT東日本の高橋です。

この度会長に金子委員を推薦したいと思っております。その理由ですけれども、金子委員は、八千代市内周辺の企業のITコンサルティング業を営まれておりまして、八千代市の情報化推進等に関する広い見識があること。また、従前から情報化推進協議会において会長を務められていらっしゃったことも考慮して、金子委員を会長に推薦したいと思っております。

【萩原課長】

ただいま、高橋委員から、金子委員を会長にご推薦いただきました。

他にご推薦のある方いらっしゃいますでしょうか。

それでは先ほど高橋委員から、金子委員にご推薦がありましたが、金子委員、会長のご就任についていかがでしょうか。

【金子委員】

ご指名でございますので、謹んで受けさせていただきたいと思ひます。
どうぞよろしくお願ひいたします。

【萩原課長】

どうもありがとうございます。

それでは金子委員に、会長をお受けいただきたいと存じます、皆様、ご異議はあり
ませんでしょうか。

ご異議なしということですので、金子委員を会長とさせていただきます。

金子委員、一言ご挨拶のほどよろしくお願ひいたします。

【金子委員】

ただいまご指名いただきまして会長を拝命させていただきます。

会長就任にあたりまして、一言皆様にご挨拶させていただきます。大変僭越ではござ
いいますが、進行を務めさせていただきます。

皆様のお力添えをいただきながらですね、この八千代市の情報化、DXに努めて参り
たいと思ひます。八千代市政、或いは行政のデジタル化について、様々なご見識、ご意
見をお持ちの方が、委員に参加されているということをお伺ひしておりますので、大変
心強く考えております。

あくまでも、協議会という形ですので、特に審議事項とか、そういった堅苦しい内容
ではなく、情報化或いはDXに関する建設的なご提言をいただきまして、八千代市の情
報化等の推進に少しでもお力になればと考えております。

簡単ではございますが、皆様どうぞご支援、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

【萩原課長】

どうもありがとうございました。

それでは会長が決まりましたので、議題1は終了とさせていただきます。

以降は、金子会長に議長として、会議の進行をお願いすることといたします。

議事の進行にご協力いただきまして、ありがとうございます。

それでは金子会長、よろしくお願ひいたします。

【金子委員】

それでは引き続き会議を進めさせていただきます。

本会議、高橋委員が2人いらっしゃるということですので、大変恐縮ですが今、ご推
薦いただきました高橋学委員を学委員と呼ばせていただき、高橋俊晴委員を高橋委員
というふうと呼ばせていただくことをご容赦いただきたいと思ひますのでどうぞよろ

しくお願いいたします。

まず、要綱第4条第3号に、会長に事故があるとき、または会長が何らかの形で欠けたときは、あらかじめ会長の指名する委員がその職務を代理するとあります。

ここから、私の方から、会長の職務代理者を指名させていただきたいと存じます。

職務代理者ということで、通信事業や、また自治体DX事業などに大変お力を発揮されている東日本電信電話株式会社にご在勤の高橋学委員をご指名させていただきます。

高橋学委員どうぞよろしくお願いいたします。

【高橋学委員】

よろしくお願いいたします。

—————議題2 八千代市DX推進方針（案）について—————

【金子委員】

それでは本日のメインの議題に入らせていただきます。

まず議題につきまして事務局からご説明をいただきまして、説明終了後に質疑応答及び意見交換という形で進行させていただきますので、ご了承のほどお願いいたします。会議の時刻、一応12時前後を予定していると思いますので、円滑な会議のご進行にご協力をいただければと思います。

それでは事務局の方からご説明をお願いいたします。

【岩田副主幹】

本市では、先ほどの課長挨拶にもございました通り、令和2年度にICT利活用推進指針及びICT利活用推進計画を策定し、ICTに関わる施策を進めて参りました。

しかしながら、自治体DXを着実に進めるため、今年度から情報政策課に改称され、DX、社会保障番号制度の企画及び調整に係る事務が新たに加わったところがございます。

またその一方で、新型コロナウイルス感染拡大の影響によるデジタル化への対応の遅れなど、多くの課題が浮き彫りになっていることから、急速な社会情勢の変化に対応するとともに、市民サービスの向上や、行政事務のDXを進めていくため、現行の指針等に代わるものとして、新たにDXの推進方針を策定することといたしました。

それではまず、本日初めて会議に出席される委員もいらっしゃいますことから、初めに、現行の八千代市ICT利活用推進指針及び八千代市ICT利活用推進計画、こちらについてその概要をご説明いたします。

ICT利活用推進指針につきましては、八千代市第5次総合計画を上位計画とし、前期基本計画に掲げた施策、スマート自治体の推進を実現するため、ICTの利活用を推

進することにより、より良い行政サービスを提供することを基本目標に、実現に向けた施策の体系として、3つの柱、1つ目が、行政サービスのデジタル変革による市民の利便性の向上、2つ目が、行政事務のデジタル変革による職員の生産性の向上、3つ目が、利便性・生産性の向上とセキュリティ強靱化の両立。

こちらを掲げ、令和3年度から令和6年度を実施期間として策定したものでございます。

そして、このICT利活用推進指針に基づく実施計画として策定し、具体的な取組項目を示したものが、八千代市ICT利活用推進計画であり、その計画に基づき、ICTの推進に取り組んでおります。

本計画において、新たに実施すべきと結論づけた取組については、八千代市第5次総合計画前期実施計画に位置付けを図ることとしております。

推進計画の計画期間は、第5次総合計画の前期計画期間と合わせ、指針同様、令和3年度から令和6年度までの4年間とし、ICT技術等の進展状況や社会情勢の変化に機敏に対応するため、毎年度見直すことと定めております。

次に、計画に位置付けた取組についてご説明いたします。

本計画には、前述した指針の3つの柱に紐づく取組が設定されており、行政サービスの変革による市民の利便性の向上の柱では、行政手続オンライン化の促進及び電子決済サービスの提供、行政事務のデジタル変革による職員の生産性の向上の柱では、AI及びRPAの活用及びデータ共有化の推進、利便性・生産性の向上とセキュリティ強靱化の両立の柱では、情報セキュリティ監査体制等の強化となっております。

また、行政手続オンライン化の促進及び電子決済サービスの提供につきましては、今年度から前期実施計画に移行のうえ推進しており、AI及びRPAの活用など、その他の取組については、ICT利活用推進計画にて、引き続き、推進しているところでございます。

以上で、簡単ではございますが、現行の指針等に関する説明を終わります。なお、指針や計画、取組状況、こちらの詳細につきましては、ご提供させていただいております参考資料1から3にて、後程ご確認いただければと思います。

それでは、改めまして、八千代市DX推進方針（案）、こちらについて、資料3をもとにご説明させていただきます。

それでは資料3をお開きいただき、まずはPDFのページ番号で3ページにあります目次をご覧ください。

本方針案は、第1部「方針策定の考え方」、第2部「方針策定の背景」、第3部「基本方針」、第4部「取組の推進及びスケジュール」、以上の4部構成となっております。

続きまして、1ページ進めていただいてPDFで4ページ、右下にありますページ番号で1ページ、「第1部 方針策定の考え方 第1章 方針策定の趣旨」をご覧ください。

ここでは、方針策定の趣旨といたしまして、本説明の冒頭でもお話ししました通り、本

市におけるICT施策の推進については、ICT利活用推進指針及びICT利活用推進計画にて取り組んできたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、デジタル化への対応の遅れなど、多くの課題が浮き彫りになったことや、この状況の中、国はデジタル庁を創設し、システムの標準化などにより、行政手続のオンライン化を進めることとしたこと、これらを踏まえ、本市においても、急速な社会情勢の変化に対応するとともに、市民サービスの向上や行政事務のDXを進めていくため、現行の指針等に代わるものとして、新たに八千代市DX推進方針を策定することとしたことについて記載しております。

そして、次ページにおきまして、DX推進によってスマート自治体の実現が達成された場合について、従前との比較にイラストを用いまして、わかりやすく視覚的に表現しております。

次に、PDFで6ページ、右下のページ番号で3ページの「第2章 方針の位置付け・推進期間」をご覧ください。

ここでは、八千代市第5次総合計画の前期基本計画に掲げた施策、スマート自治体の推進を実現するため、自治体DX推進計画と、整合をとりながら、本市のDXを一層推進するための基本的な考え方や方向性を示しており、実施期間については、DX推進計画の計画期間に合わせ、令和7年までとし、時代の潮流に合わせ、柔軟に対応しているため、必要に応じて見直しを行うことや、複数部署の業務に影響を及ぼす等、計画的に推進していく必要がある取り組み項目については、第5次総合計画実施計画に位置付けて推進を図ることについて記載しております。

次に、PDFで7ページ、右下の番号で4ページ、「第2部 方針策定の背景」をご覧ください。

こちらでは、社会の動向、もう1ページ進めていただいて、5ページでは、国の動向について記載しております。

こちらについては、報道等で周知の事実になっておりますことですから、説明は割愛いたしますが、本方針策定にあたり、これらの背景も踏まえております。

次に、PDFで9ページ、右下のページ番号で6ページ、「第3部 基本方針 第1章 DX推進」に向けた施策の体系をご覧ください。

ここでは、ストレスフリーな市役所、行政事務の効率化、人に寄り添うデジタル化の3つを基本方針として、市民に信頼されるスマート自治体の実現を目指すこと、また基本方針の推進にあたり、八千代市情報セキュリティポリシーに基づくセキュリティ対策を徹底するとともに、情報セキュリティに関する状況の変化に対応するため、国が示す基準、ガイドラインに基づき、本市情報セキュリティポリシーについて、適宜、見直しを行うことについて記載しております。

次に、PDFで10ページ、右下の番号で7ページの「第2章 実現に向けた施策」をご覧ください。

ここでは、3つの基本方針に基づく取組内容及び方針の推進のための取組例について記載しています。

まず、方針1ストレスフリーな市役所では、数ある申請手続や相談等について、来庁せず、自宅等で行うことができるよう、行政手続のオンライン化等の取組を推進するとともに、来庁し手続を行う場合であっても、滞在時間を短縮できるよう、キャッシュレス決済等の取組を推進することについて記載のうえ、次のページに取組例を図にして、わかりやすく、視覚的に表現しています。

続きまして、PDFで12ページ、右下の番号で9ページ、方針2行政事務の効率化をご覧ください。

ここでは、デジタル化の利点を最大限生かせるよう、事務の効率化及び利便性の向上に向けた見直しも行いつつ、基幹系システムの標準化等の取組を推進するとともに、分野横断的な展開等も見据え、確実な情報共有や推進を図るため、全庁的な推進体制の整備を行うことについて記載のうえ、次ページに、こちらも方針1と同様ですね、取組例を記載しております。

次にPDFで14ページ、右下のページ番号で11ページ、方針3人に寄り添うデジタル化をご覧ください。

ここでは、年齢、障害の有無、性別、国籍、経済的な理由等にかかわらず、誰も取り残さない形で、すべての市民がデジタル化の恩恵を受けられるよう、UI（ユーザーインターフェース）、UX（ユーザーエクスペリエンス）を意識して、システムを導入するとともに、誰もが情報通信機器や、インターネット上のサービスの利用方法を習得できるような取組を推進することについて記載のうえ、次ページに他の方針と同様、取組例を記載しております。

続きまして、PDFで16ページ、右下に記載しておりますページ番号で13ページ、「第4部 取組の推進及びスケジュール 第1章 取り組みの推進方法」をご覧ください。

ここでは、DX推進チェックリストとして、職員が、取組項目を具体化する際に確認すべき事項について、8つの項目にまとめております。

次に、PDFで17ページ、右下の番号で14ページ、「OODAループ及びPDCAサイクルを用いた推進手法と進捗管理」をご覧ください。

ここでは、OODAループを用いた考え方を基本として、DXに係る取組項目を抽出のうえ、先ほど触れましたDX推進チェックリストを踏まえ推進するとともに、計画的に推進していく必要がある取組項目につきましては、総合計画実施計画に位置付け、PDCAサイクルにて事業の進捗や成果などの評価を実施し、適切な見直しや改善を実施することについて記載しております。

次に、PDFで18ページ、右下の番号で15ページ「第2章 方針の推進体制」をご覧ください。

ここでは、八千代市情報化推進協議会から多様な意見等を頂戴し、計画的に推進して

いく必要がある取組項目については、全庁横断的な組織である八千代市電子自治体推進本部にて審議し、その結果を取組に反映させて着実に推進すること、各部署にDX推進員を配置し、情報共有や問題解決及び業務改善について新たなDX政策の検討を行うこと、外部人材の活用も視野に入れた通信体制の構築に向け調査研究を進めること、職員全体のスキルアップ等のためDXに対する知識や親和度の違いを踏まえた多様な研修を行うことについて記載しております。

次に、PDFで19ページ、右下のページ番号で16ページ、「第3章 取組項目の抽出方法」をご覧ください。

ここでは、各部署の課題、窓口の課題、組織横断的な課題の3つから抽出した課題を、情報政策課で取りまとめることについて、図を用いて視覚的に記載しています。

次に、PDFで20ページ、右下の番号で17ページの「第4章 取組項目の抽出から総合計画への位置付けまでの流れ」をご覧ください。

これは、前ページにてご説明させていただいた3つの抽出方法、こちらにより抽出した取組項目について、総合計画に位置づける場合における検討から、結果に至るまでの工程について記載しております。

総合計画に位置付けを検討する取組案、こちらにつきましては、複数部署の業務に影響を及ぼすなど、計画的に推進していく必要があるため、本協議会より意見、提言をいただき、電子自治体推進本部において審議を行います。

次に、PDFで21ページ。右下に記載しておりますページ番号で18ページ「第5章 スケジュール」をご覧ください。

ここでは、令和7年度までに取り組む内容について記載しております。

今後、方針の策定と並行して、新たな取組項目、こちらの抽出および推進を行うとともに、ICT利活用推進計画（旧計画）における取組項目のほか、総合計画に位置付けている行政手続オンライン化の促進、電子決済サービスの提供、情報システム標準化の取組についても、着実に推進して参ります。

資料3に基づく説明は以上となります。なお、本方針案につきましては、本協議会のご意見を添えて、八千代市電子自治体推進本部にて審議を行い、その後、パブリックコメントを実施する予定としております。

以上で長くなりましたが、議題に八千代市DX推進方針（案）について、説明を終わります。

【金子会長】

事務局ありがとうございました。

本日第1回目の協議会ということでありますけれども、今ご覧いただいた資料、大体大きくその市のDXについてのご説明ということですが、これについて、何かご意見、ご質問等をお持ちの方は挙手にてご発言をいただきたいと思っております。

そう言っても、なかなか発言が難しいかもしれませんので、場を和ませるといったらおかしいかもしれませんが、私の方から逆に、ご質問をさせていただきたいと思います。

これはもしかしたらこの八千代市で議論する話ではないのかもしれませんが、昨今例えばマイナンバーカードについては、少し若干のトラブルがあったように認識しております。

八千代市としてはですね、こういった八千代市だけでは解決できない問題について、何かこう方向性というかですね、何か具体的な手だてなどをお持ちであれば参考までに、お聞かせいただきたいと思いますけれども、事務局いかがでしょうか。

【岩田副主幹】

マイナンバーの問題については、今、世の中を賑わせていることは我々も承知しているところです。

マイナンバーのトラブルに関しましては、八千代市では現在のところ起きておりません。そこをまず、ご報告させていただくと、八千代市では、マイナポイントの登録の支援を別途窓口を設けてやっておるのですが、基本的にマイナポータル自体が国のシステムでありますので、正直我々ではどうしようもないところがあります。

ですから基本的に、例えば保険証の誤った紐づけとかの問い合わせがあった場合は、国のフリーダイヤルをご案内するといったような形で運用しています。八千代市も国民健康保険がありますので、国保年金課に確認することもあるのですが、基本的には国のフリーダイヤルを案内する運用をしております。以上になります。

【金子会長】

ありがとうございます。他に何か、あくまでもこれは協議会でございます。

先ほど事務局からのご案内もありましたけれども、この推進方針に少しでも盛り込む内容、或いは改善を必要とする内容があれば、それをご指摘いただきながら、より精緻なものに完成度を上げていただくということも含めて、ご意見をいただきたいと思います。中川委員。

【中川委員】

初めまして中川と申しますよろしくお願いたします。

マイナンバーカードのことが今お話でございましたが、口座の紐づけで、八千代市は特にそういった誤登録というのはなかったということによろしいでしょうか。

あと先ほどデジタル化、人に寄り添うデジタル化というところで、スマートフォンをお持ちでない方とか、そういった情報を取れない方に対しての講習会というのは行ってらっしゃるのでしょうか。教えていただきたいです。

【岩田副主幹】

まず、最初の口座への誤登録のお話ですが、我々の方では正直に言いますとわからないというところでは。口座情報自体が合っているかどうかというのは我々は管理しておりません。

ただ、我々のところにそういった事故があったという話は、国からも来てないですし、市民の方からもいただけていないです。

2点目の方ですけども、スマホ教室という形になると思うのですが、こちらに関しては、例えば公民館で、主催講座として、スマートフォン教室を開催していたり、長寿支援課において、高齢者の団体と、本団体が中心になって、スマホ教室を開催したり、市として、実際に実施をしているところでは。以上になります。

【金子会長】

中川委員よろしかったでしょうか。回答になってますでしょうか。

【中川委員】

はい。ありがとうございます。

【金子会長】

今のご質問、逆にちょっと引き継ぎまして、関係部署で、スマートフォンの教育ですか、説明というようなお助けがあるということでしたけれども、逆に来てくれる方はまだ何とかお手伝いのしようがあるかと思えますけれども、逆に自分がその情報弱者であること自体を、もしかしたらご存知ないような方もいらっしゃるのではないかとこのことを懸念いたします。

何か逆に、来てくれたら、支援するという形ではなくて、例えば行政の方から積極的な働きかけで何か確認をするような手だてというのはお持ちでしょうか。

【岩田副主幹】

今、現実問題として、手がつけられているのは、金子さんおっしゃったように、自分が認識している方を救済するという点です。

国の補助金も活用も含め検討を進め、実際、先ほど申し上げたように長寿会連合会さんが中心として、各長寿会のところへ広げてやられていると、あとは公民館でやっているというところが今の現状でして、どこまでうちとしてこう出張っていくかな、やってくかというところは、正直まだ検討があまり進んでない状況です。今日いただいたご意見もありますので、そちらも参考に、他市の実施例等の調査など、この辺から進めたいと考えているところでございます。

【金子会長】

ありがとうございます。村山委員，どうぞ。

【村山委員】

すいません。ジェイコムの方です。

今のお話で，実はですね，ジェイコムの方でも，長寿会の方だと思いましたが，スマートフォン教室に関しては我々もちょっとご協力させていただいています。

ただ，どうしても，我々も人を配しながらやっていきますけれども，回数の方は大分絞られてしまっていて，中身をもっとたくさんやってもらえないかっていうご要望いただいているのですが，なかなかできていないのが現実で，そういう教える側の人たちをどんどん増やしていかなければいけないのかなと思ってまして，他の自治体もその辺，考えてらっしゃるといのは，耳にしますけれども，ボランティアの方のそういう教える側の人を育てていって，たくさん育てていってその人たちが，公民館であったり，いろんな場所でどんどん，そういった活動をできるような，そういう教える側の人を育てるっていうことが，非常に大事なかなというふうに昨今思いますので，ぜひちょっとそういったこの辺を人に寄り添うデジタル化っていうところで，ストレスフリーな市役所で，業務の効率化ってところをなし遂げるためには，非常に大事だと思いますので，ちょっとその辺考慮しながら進めていただけるとありがたいと思います。

私からの意見は以上でございます。

【金子会長】

ありがとうございます。

今村山委員から貴重なご意見ありました。

確かに，実際知りたくても，誰に聞いたらいいのかわからない。或いは，また身近な人で教えてくれる人がいるのであればその人に聞くのが一番手軽であって，一番その聞きやすい環境でもありますので，教える側，決して行政だけに負担をかけるのではなく，私どものような民間の事業者などを活用いただきながら，その教え合うとかですね，もしかしたらその有償無償というところの，若干の配慮はあるかと思えますけれども，教える人を増やして，その情報弱者に対する手を差し伸べていくという姿勢，非常に重要なのではないかと，いうふうに考えます。

もし，この推進方針の中にですね，そういった一文が入れられる余裕があるのであれば，ぜひその一行を加えていただくというのも重要なことかと思えますのでご配慮いただければと思います。

村山委員ありがとうございます。

せっかくの場所でありまして，初めての方もいらっしゃいますけれどもぜひ忌憚のないご意見をちょっとお願いしたいと思います。

画面上で、挙手をいただいても結構ですが。高橋委員、挙手いただきましてよろしくお願ひします。

【高橋俊晴委員】

高橋です。総論から入りさせていただきます。

私の背景にあるのは、これは、八千代市の市の花バラを、私は折り紙で演出しています。

今ちょっと各論の話がありましたけど、私はデジタルに関するシンポジウムをよく視聴しますけれども、その時、常に語られるメッセージがあります。

それは、デジタルというのは目的ではなくて、手段です。そのあたりを取り違えないでくださいと何度となく聞きます。

八千代市どうなんですかって言うと、ひょっとすると取り違えている人がいるかもしれないと思っています。ということは、腹落ちしてないんです。

理由は、ビジョンが共有されてないからかなと思っています。実はビジョンというのが、実はこの協議会のレベルでなくて、総合計画の話になってしまいますが、あえてその話題にさせていただきます。

八千代市の将来都市像は、「人がつながり未来につなぐ緑豊かな笑顔あふれるまちやちよ」とあるのですが、これがデジタルと繋がらないです。

それならば、このDX推進方針で、個別のビジョンを掲げてみてはとっております。

では、キーワードは何ですかと聞かれたら、ずばり Well-being です。Well-being というのは、かつて健康とか福祉の意味で使われていたんですけども、最近は幸せとか幸福を意味する言葉として使われています。

横文字だと抵抗感のある人が多いと思いますのでちょっとたたき台の案ですけども、市民の幸福感を向上させるデジタル社会、こんなメッセージはどうかと思っています。幸福感を高めるデジタルサービスとは何か市民にイメージできるかなあというふうに思います。

そうすると、このメッセージに対してどんな手段があるんだろうということになると、先行している色々な自治体で、こんなことやっている、あんなことをやっているっていうのがたくさんあると思いますので、有名なところとか先行しているところだと、前橋市とか加古川市とか浜松市とかがあるんですけども、今言ったところはちょっと飛び抜けていますので、その他のところ、その他のところってどんなところがあるのっていうと、ご存知の方がいるかもしれませんが、今デジ田交付金っていうのがあって、そこの実装事例集のTYPE2TYPE3、そこら辺で例を挙げているところっていうのは、多分参考になるかなというふうに思っています。

その一連の自治体は、先ほどの Well-being なんですけど、地域幸福度指標（Well-being 指標）を測定して、来年の3月までに概要表を公表するということが義務付けら

れています。

となると、幸福度を向上させるというマインドは一気に高まるんじゃないかなというふうに思っています。

一部で、Well-being っていうのはポストSDGs かもと言われてますことから、これは当該部局のみならず、全庁的なテーマとして働きかけをしてもらうというふうに思っております。

一旦ちょっとここで切らせていただきます。

【金子会長】

高橋委員、大局的な視点からありがとうございます。

Well-being, SDGs と並んで今話題になってきているワードでもありますので、ぜひ皆様もご認識をいただければと思います。

大変貴重なご意見いただきました。

それから、今いくつか先行している事例、前橋市、加古川市、それから浜松市のご事例挙げていただきましたけれども、いかがでしょう。

八千代市のDXに伴って、市民の利便性ではなく幸福度を重視した取り組みがあるのでしょうか。

その辺の観点で、もし何か今、現時点でお答えできることがあれば伺いたいと思うのですがいかがでしょう。

【岩田副主幹】

幸福度、Well-being は、当然存じておりますが、そことDXの繋がりは深く検討ができていない状況です。

ビジョンの策定については、最上位計画が総合計画である以上、ここで私のほうから具体的な話は申し上げられませんが、皆さんからいただいたご意見をもとに、今後の検討を進めていくというのも本協議会の趣旨ですので、この先、総合計画を所管している企画経営課と協議をしたいと考えております。

【金子会長】

高橋委員、いかがでしょう。

今の事務局の回答について、ご納得をいただけたかどうかの確認をさせていただきたいのですが。

【高橋俊晴委員】

現状は理解しています。

ただ、このWell-being は非常に重要であると考えておりますので、学習が必要だと

感じています。それが現時点で伝えたいメッセージとなります。

【金子会長】

ありがとうございました。

貴重なご意見を、情報化推進協議会の一つの提言という形で受け取らせていただきます。利便性にとらわれることなく、大局的な観点で、このDXの推進方針というのを見直していただければというふうに考えます。よろしく願いいたします。

そのほかに、今大局的なお話もあったところから、私の方が瑣末なところから入ってしまったところではあるんですけども、皆様のご忌憚のない意見を頂戴したいと思えますがいかがでしょうか。

画面上で挙手をしていただいても結構です。Zoomの挙手機能使っていただいても結構です。

学委員お願いいたします。

【高橋学委員】

NTT東日本の高橋学ですよろしくお願いします。

今いろいろご意見いただいているところですけども、ちょっと私も今回の計画を見させていただいた中で、冒頭にお話がありました通り、私も気になるのが、情報があまり取れない方々に、どうやって利便性をよくしようとしているのかです。

その仕組みを、満遍なく届けられ、実施できるかなといったところが一番進めていった方がいいと思っています。

その辺は先ほどお話ししました通り、少し機会を増やしたり、そういう説明ができる人を増やしたりっていったところは、やっていくべきだと私も今お聞きして思いました。

あともう一つは、普段の情報推進になってきますが、やはり昨今、災害等がすごく増えているところもありまして、その災害時にどう情報を取っていくかです。

スマホとか持っていない人たちは、その災害情報などを素早く取れない事情もあつたりもするので、やはり今回のこの計画の中に、危機管理的な観点の情報の仕組みみたいなところも、盛り込むと考えられるのかなと思いました。

【金子会長】

事務局いかがでしょう。

学委員の方からはその危機管理、リスク管理という観点での盛り込み、内容というご指摘ありましたけれども、そのあたりでのお考えを伺えればと思います。

岩田さんお願いします。

【岩田副主幹】

今回あえて計画ではなく方針としたのは、広くすべての部署において対応できるような作りを意識し、あえて個別具体的なことを、記載してないところは確かにあります。

しかしながら、高橋学委員おっしゃるように、そういう色々な側面があることは当然理解しておりますので、そこについては、載せる、載せないを含めて、改めて検討したいと思います。

【金子会長】

今拝見した推進方針案について、セキュリティに関する記述はありますけれども、いざとなった時のリスク管理の観点が少し弱い気はいたしますので、何らかの見直し等で、1文加えていただければというふうに考えます。

これは一応情報化推進協議会の1つの意見として、しっかりと把握をしていただければというふうに思います。

その他にいかがでしょう。

協議会ということですので、ぜひご忌憚のない意見をちょうだいしたいと思います。

もしなければ私の方から、市川委員をご指名させていただいて、経済団体としてのお立場から何かご提言、或いはご意見、ご質問があれば承りたいと思いますが、いかがでしょうか。

突然振ってしまって申し訳ありません。

【市川委員】

八千代商工会議所の市川と申します。よろしく申し上げます。

事業者の観点からいうと、いろんなアンケートの中で、DXが進まない理由として人材不足とかが、挙げられるのですけれども、八千代市さんとしては、そういった点、どのような取り組みをされているのか、お聞きできればと思います。

【金子会長】

いかがでしょう。

人材という観点でのご指摘ですが。

岩田さんよろしくお願いいいたします。

【岩田副主幹】

市川委員のおっしゃるように人材育成っていうのが、これからの肝になると思っております。

冒頭で、職員の認識など、高橋俊晴委員の方からもありましたように、DXイコール

デジタル化と、そういう認識を持っている方もいらっしゃるかなとは思っております。

ですので、方針の中にも研修のことは入れさせていただいたのですが、結局のところ世代によって認識というのは当然異なり、私よりも若い世代はスマートフォンが普通であったり、そういった世代間の違いが、認識や親和度に差を生んでいると思われま

す。そこを意識した職員研修なども実施しつつ、情報共有を図るうえで、各部署にDX推進員を配置して、庁内の情報共有、あとは取組に関してはボトムアップできるような形で、ちょっと言葉にすると適切ではないかもしれませんが、全庁一丸というイメージで同じ認識レベルを持って進めていきたいと考えております。

【金子会長】

ありがとうございます。

市川委員、今のお答えいかがでしょうか。

【市川委員】

ありがとうございました。

【金子会長】

ありがとうございます。

人材育成について、私の方からも一言申し添えさせていただきますと、私事ながら弊社では、プログラミング教室、或いはそのパソコンの基礎、基本の講習会等も事業としてやっておる関係で、日々の課題を逆に申し上げますと、そもそもがまだ、その情報に関する教育というのがまだまだ義務教育としての定着度合いも決して高いものではないという事実がある中で、必ずしもその一般常識になりきっていないところがあるかと思

います。これは行政の問題という形だけではなく、先ほど村山委員からのお話もありましたけど、教える側の人材の育成という意味では、もう少し例えば、その教育レベル、小さいころからどうやってそのリテラシーを高めていくかといったような、まさに大きなテーマになってしまうかもしれませんが、単純にその行政で何か取り組んでいくということだけでもなかなか難しい現実があるかと思

います。やはり、官民、或いは教育界も巻き込んだ何かそういう大きな方針が必要になるのではないかなという懸念は持っておる次第でございますが、これはあくまでも私の私見ではございますので、必要であれば議事録から削除していただいても構わないんですけれども、また、教育委員会やあらゆる組織に働きかけて、その情報リテラシーの向上ということも含めて取り組んでいく必要があるのではないかというふうに考えます。

人材に関してのご指摘ありがとうございます。

そのほかに何かご意見、ご質問等があれば承りたいと思っておりますけれども。

よろしいでしょうか。

俊晴委員、ぜひよろしくお願いします。

【高橋俊晴委員】

すみません。ちょっとさっきから総論ばかり言っているんですけど、やはりちょっとここだけはきっちりしとかなければなりませんので、それだけ指摘をさせていただきます。

PDFの5ページですけど、第2章の国の動向っていうところを、事務局の方が、こういうのありますよとさらっと通過してしまったので、あれっと思っちゃったんですけど、大変、実はこれ気になっています。

5ページの国の動向のところの表を見ても、多分市民の人はわからないです。これを見て、何が重要なんだろうっていうのがわからないです。

これ、私が勝手に思っているだけかもしれませんが、最も重要な文言は、令和4年の9月改定って書いてあります、自治体DX推進計画なんですけど、これは改定なんです。

正確に言うと、改定の2.0版、最近行政の計画書って整数じゃなくて小数点で書いてるんですけども、2.0って書いてあるし、ひよっとすると2.1とか2.2とかなると思うんですけども、明らかに初版と違うんですね。初版と違うから、私は今回のこのDX推進方針の検討会がスタートしたんだろうと思って、この会議に参加してきました。

何が違うかっていうのは、その前に、前後して書いてありますけども、重点計画になんかが書かれています。

それからあともう一つ、4年の6月なんですけれども、ある方針ができ上がりました。

デジタル田園都市国家構想の基本方針が決定して、地方創生の戦略、これをデジタルの総合戦略に変えましょうという話があって、実はその2つの項目の中に、ちょっと先ほど私話題にしたWell-being指標に基づいて云々という記載がはっきり書かれています。

それで、この4年の9月に自治体DXの2.0の版は書き加えてあります。

目次を見ると、一目でわかるんですけども、国の取り組みと歩調を合わせた地方自治体におけるデジタル化の取り組みを推進するというのが主眼なんです。

だから、今まで総務省が言っていたことだけでなく、国全体の動きも加味しながらやってくれなくてはという、少し重たい話だろうと思います。

せめてこの国の動向のところ、ここが違っているの、国と歩調合わせなきゃいけないというのは、ちょっと認識しておかなくてはならないと思っています。

続けて重たい話をして、申し訳ないです。

今回私はすばらしいと思ったのは、PDFで14ページの、OODAループが載ってしまっていて、私、八千代市の計画書で初めて聞きました。

多分これすごく重要なのだらうと思います。

しかもこれ機敏に対応するっていうことですから、ぜひ機敏に対応するっていうことを年頭におかれたらというふうに思っております。

ちょっと前後します。

先ほどの総合戦略が、デジ田の総合戦略に変わっていて、よって、八千代市は総合計画の中に総合戦略が入ってしまっているのです、どうするのかは正直言って見えません。

そして、今回の方針案は、12月に策定するらしいですけども、できれば、そのあたりの部分の、骨組みが見えるような形になっていただきたい、それが見えないと、今回のこの方針案を決めても魂がないような気がしています。

そこら辺のところは、この協議会のレベルではないんですけども、すごく重要だと思うんですけども、やっぱりデジ田の総合戦略の動きって相当早いです。

どこの自治体もそれに向けて、ものすごく動いています。

私、実はデジタル庁のホームページ頻繁に見ているんですけども、もう情報が頻繁に更新されてびっくりしています。

その中に、自治体窓口DX SaaSというページがあって、いろんな事例紹介されているのも見えています。

こんな状況下だと、ある程度、その国の動きと歩調を合わせたところをキャッチアップする姿勢というのは見せておかないと、よその自治体からちょっと遅れを取るのではないかというふうに思っておりますので、ちょっとご意見させていただきました。

【金子会長】

高橋委員ありがとうございました。

現状を把握している範囲で申し上げますと、自治体のDX推進計画で言われているところの大きなポイントは、国という観点よりも、私の読み取り方の限界なのかもしれませんが、都道府県と市町村との連携のところを少し詳しく記述してあるように理解しております、例えば八千代市単体での動きというのが難しい案件については、県との連携或いは国との連携で進めていく必要があるというようなことを書いてあったと理解しております。

高橋委員からのご指摘があった通り、他の自治体との足並みの揃え方ですとか、県とのその整合性とかという観点で、何かその具体的なその取り組みがあれば、ぜひお話をいただければと思いますけれどもいかがでしょうか。

岩田さんお願いします。

【岩田副主幹】

県とは、会議体をもっておりますが、話をすることは多くはないですけどあります。市の方からマイナンバーのことで問い合わせを行うこともありますが、具体的な取り

組みについては、県主導でやる取組が自治体に即必要とされているものかというのが見極められてないところもあり、現状では進んでいるとはいえません。

国との歩調については、ニュースでも出ているとおり、国は令和7年度までに標準化をやりなさいと言っているのですが、仕様等が未だ定まっていないものもあります。

結局、実際は遅れることも認められるような状況になってきているので、国の情報についてはそこら辺見極めながら、前がかりになりすぎると、手戻りが発生することも当然ありますので、慎重に見極めながら、検討を進めているところです。

【金子会長】

ありがとうございます。

足並みをそろえる。

例えば、他の自治体さんとの比較で、その先進事例にどれだけ追随していくのか、或いは、逆に八千代市が率先してその最先端をいくのかどうかというようなところの判断というのはなかなか難しいことがあるかと思えます。

もちろん、これは予算のあることでもありますし、今事務局からご指摘あったように例えば、先走りすぎると手戻りの心配があったりして、そのあたりのさじ加減というのはなかなか、その行政の立場としては、大変難しい舵取りが必要な分野ではないかなというふうに、拝察いたします。

あくまでも、今回、皆さんに見ていただいているのはこの推進方針の案ということで、この後これを見て、パブリックコメント等もしながら、受けながら、最終的な方針として固めていくということになるかと思えますけれども、いかがでしょう。

その他に何かここ盛り込んでおく必要のあるもの、修正の必要なところ等、ご意見、ご質問等あれば、もう残り少ない時間にはなっておりますけれども、頂戴できればと思えます。

もし他にご意見ご質問がなければ議事の二つ目の議事終了させていただきたいと思えます。

もし、また何か短い時間に言えなかったこと、或いは言い忘れたこと等あれば、また個別に対応していただくということも可能だと思いますので、これは情報政策課さんの方にまたご意見ご提言という形を取れば、よろしいでしょうか。

また、事務局におかれましては、本日ご指摘のあったご意見、ご質問等につきまして、ぜひ、今後の情報化及びこのDXの推進の案の中にどう盛り込んでいくかということについてご検討いただきながら、完成度を高めていただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

以上で議事を終了させていただきますが、事務局の方から何かほかにご連絡事項あればご提示いただきたいと思います。

【岩田副主幹】

今後の予定といたしまして、この後事務局で、今回の議事録の案を作成いたします。

そして作成後には、委員の皆様にご送付いたしますので、発言内容等のご確認をお願いいたします。

皆様のご確認の後、市ホームページにて公開させていただきますので、ご了承願います。

また口座登録依頼書につきましては、返信用封筒を別途お送りいたしますので、こちらをご利用いただき、ご提出をお願いいたします。

今日は、たくさんのご意見いただきまして、誠にありがとうございました。

この後、方針は、今日いただいたご意見を参考に、より良いものとなるよう、ブラッシュアップしていきたいと考えておりますので、今後とも引き続きよろしく願いいたします。

【金子会長】

それではこれもちまして、本日の会議終了させていただきます。

長時間にわたり、皆様のご協力をいただきまして、無事に進行させていただきました。

改めて、ありがとうございました。

本日はこれで終了させていただきます。

失礼いたします。ありがとうございました。